

B ①	造形遊び 1・3・5学年	「センタくんとバサミちゃんのへんしん」 「センタ君とバサミちゃんのぼうけん」 「センタ君とバサミちゃんの夢の世界」 秋田県羽後町立西馬音内小学校 教諭 井上 晴子
--------	-----------------	--

1 題材について

本題材は、カラー洗濯ばさみをつなぎ合わせながら、様々に伸びていく形や色の面白さや美しさを感じ取り、自分なりの造形的な表現を発見する学習内容である。材料の洗濯ばさみは、1年生でも扱いが容易で、並べたり、つなぎ合わせたりすることができる。カラフルな色やその形状から発想を膨らませ、児童の思いを具現化しやすい。「もっと面白く」「もっと美しく」とつくり、つくりかえていく中で、創造的に発想や構想をする力を高めていきたいと考えた。また、同じ材料に関わって表現を深められるよう同一材料による題材を複数学年で計画した。活動によって学びを深めている児童の姿をそれぞれの学年で見取りながら、「学びが深まる授業づくり」につなげていきたい。

2 題材の目標

- 1年「センタくんとバサミちゃんのへんしん」
- 洗濯ばさみを組み合わせて何かに見立てたり、長く並べたりする面白さに気づき、活動を楽しもうとする。(関心・意欲・態度)
 - 洗濯ばさみを並べたり、組み合わせたりしながら、いろいろな形や色の組み合わせを思い付くことができる。(発想や構想の能力)
 - 洗濯ばさみを用いて、並べたり、組み合わせたりする方法を工夫することができる。(創造的な技能)
 - 自分や友達の活動の面白さに気付くことができる。(鑑賞の能力)

3 学習計画(2時間)

- 様々な活動を試しながら、面白い形やきれいな色の組み合わせなどを考える。…1時間
- 前時の活動を生かして、さらに面白く、きれいな形や色になるように工夫する。…1時間

4 授業の概要

どんなことができるか可能性を探らせるため、材料とじっくり関わるウォーミングアップの時間(3個の洗濯ばさみを立たせる)を設定した。それぞれが試みたことを全体で共有したことで、次の活動へのヒントとなった。

1年生は、広い場所に座卓を用意し、どんどんつなげるダイナミックな活動や机の上で他方向から眺めて緻密につくる活動など、活動場所を選択できるようにした。

3年生は、後半にひもを副材料に加え、洗濯ばさみを結んだり、ぶら下げたりしながら活動を広げられるように、園芸用ネットを張って活動場所を変化させた。

5年生は、活動場所を音楽室と中庭にした。楽器の形状やひもでぶら下げた洗濯ばさみの動きから、新たな発想が刺激され、いつもの場所を自分だけの素敵な夢の世界に作り上げていた。

また、3・5年生は、気に入った作品を自らデジタルカメラで撮影し、記録できるようにした。視点を変えると作品の印象が変わることを理解し、さらにつくりかえていこうとする意欲につながった。



5 ○成果と●課題

- 表現と鑑賞を交互に繰り返すことにより、友達や自分自身の工夫、活動のよさに気づき、それが新たな発想に生かされた。
- 好きな形や色を個で追究していこうとしたり、友達と協力してつくろうとしたり、児童にとって洗濯ばさみは非常に魅力的な素材だった。
- 広い場所で児童の活動の過程を見取ることは難しい。本人に学びの深まりを気付かせる手立てをさらに工夫する必要がある。